上田地域もの・こと交換制度
蚕都くらぶ

ま～ゆ

蚕都くらぶ・ま～ゆ会報 No. 38 2007 年11月 18日 発行

わたしたちの願い

蚕都くらぶ・ま～ゆという上田地域通貨モノコト交換制度は、地域で暮らすひとびとがお互いに助け合って楽しく暮らすための制度です。

私たちは、この地域の豊かな自然やひとびとの知恵・技術・経験・人柄を地域の宝と考えます。その宝を活用することで、より豊かな地域と人間関係を目指しています。

蚕都くらぶ・ま～ゆは、地域通貨を使って人と地域をつなぐシステムです。

- ❖ 人と人との新しい関係が生まれます。
- ❖ 自分の能力を再発見できます。
- ❖ 人が活き活きすることで、地域が元気になります。

蚕都くらぶ･ま～ゆ 活動内容

★ 蚕都くらぶ･ま～ゆとは

上田地域で暮らす人が助け合って楽しく心地よく暮らせるよう、お互いの知恵･技術･時間などを交換し、活かしあう地域通貨制度です。競争と効率第一主義の社会ではなく、ともに生きる仲間としてお互いの　生活を支えあう社会を目指します。

名称はかつて日本の経済を支えてきた“繭の産地上田„にちなんで〔ま～ゆ〕と名づけました。

★ ま～ゆ の参加方法

✻ 参加される方は参加申込書に「提供できるモノ･コト」と「希望するモノ･コト」を記入し、会費を添えて会に提出してください。

✻ 会員になると次のものが渡されて、即ま～ゆ交換が可能になります。

①ま～ゆ通帳　　交換の日付･相手･内容･取引額･残高などを記入します。

②会 報　　奇数月に発行し、会の情報･会員の投稿記事･紹介記事などが載っています。

③会員名簿・　　個人情報が掲載されているので、取り扱いには十分注意しましょう。

④お助け一覧表　　モノ･コトの具体的内容とその相手が確認できます。
(ま～ゆのホームページでも確認できます)

✻ 会費は毎月10日の□□市(常会)等の会場使用料･会報作成費用等に使われます。

11月から翌年10月までを年度として、次のように収めていただきます。

- 年間1,200円。途中入会は月割りとします。(例12月入会は1100円･１月入会は1000円)
- 納入額と同額の〔地域通貨ま～ゆ〕を通帳の受け取り欄に記帳します。

＊退会は自由ですが会費はお返ししません。また、ま～ゆ通帳を会に返却していただきます。

★ ま～ゆ 交換の仕方

①会報のお助け一覧表から自分が希望したいことを探し、名簿からその相手を見つけて直接連絡します。

②あらかじめ交換条件を話し合いましょう。１ま～ゆ＝１円を目安にお互いの合意で決めてください。
商店等で仕入れ値のある商品では、売価の５%とか10%分をま～ゆで決済する場合もあります。

③交換が成立したら、まず自分のま～ゆ通帳に記入してから相手と通帳を交換して、その通帳の右の欄に署名をします。その後必ず「ありがとう」といって握手をしましょう。

④残高のプラスマイナスは気にせずに大いに活用しましょう。ま～ゆには長者も乞食もありません。

⑤交換は個人個人の責任で行います。会員ひとり一人がお互いを尊重し信頼関係を大切にすることがま～ゆの原点です。

★ 交流の場

✻ 毎月１０日に『常会 ま～ゆ市』を開きます。(会場は中央公民館等) ここでは会の運営･地域通貨の勉強や説明と会員の情報交換･呼びかけが行われ、「モノ」や「お助け」の交換市があります。

✻ そのほかに、餅つき大会・生ビール大会・ホタルコンサート・セーカパーティー・春と秋のバスツアー等(思いつきも含めて)が開かれます。大いに交わりましょう。
呼びかけがあったら積極的に参加しましょう。

✻「この指止まれ」式 のプロジェクトにも参加して新しい発見をしませんか。
(田んぼプロジェクト･味噌作りプロジェクト等)

✻ ま～ゆは人材の宝庫です。豊富な知識と技能を持ち合わせた会員を講師に、ま～ゆ寺子屋が開かれます(随時)。参加費は原則としてま～ゆを使います。

✻「手を挙げれば誰でも世話人」です。毎月(不定期)の世話人会に気軽に顔を出してみましょう。
会の運営をテーマに、✤常会ま～ゆ市のテーマと進行について✤イベントの企画と役割分担･進め方について✤各プロジェクトの運営について✤地域通貨“ま～ゆ„のより良い運用方法について✤その他、問題が生じた時点で随時、自由に討議を行い、雑談･放談も入った賑やかな会です。

✻ インターネットで最新の情報を
ホームページとメーリングリストで活発な情報交換が行われます。インターネットを活用しましょう。

ま～ゆ 1年のあゆみ

新年度のスタートは
記念誌売り込みのスタートでもありました

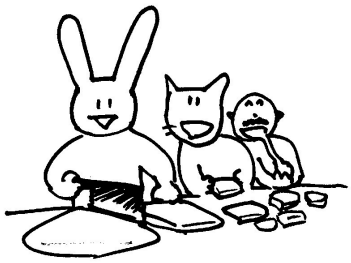
2006 年

11 月

6 日　総会現地会場下見
7 日　世話人会 寿限無
12 日　“うえだ給食まつり”に小麦粉提供
〃　須川プロジェクト活動発表(疲労坊)
18 日　味噌プロジェクト 大豆刈取り 平井寺
20 日　記念誌プロジェクト会議 寿限無
23 日　総会＆記念誌出版祝賀会 豊殿自治センター
26 日　もみじ狩りツアー 愛知県 香嵐渓
29 日　世話人会 寿限無

12 月

2 日　味噌プロジェクト 大豆脱穀 平井寺
5 日　世話人会 寿限無
10 日　ま～ゆ市 中央公民館
23 日　餅つき大会 寿限無
26 日　世話人会 寿限無
27 日　文化創造際実行委員会
(出席=ケイちゃん)



脱穀後の大豆の選別。
お茶飲みが楽しみで、はかどったかどうか？

2007 年

1 月

10 日　繭玉市 中央公民館
21 日　“楽しもう!!地域活動交流会 IN 上田”に参加
豊殿自治センター
24 日　世話人会 寿限無
〃　文化創造際実行委員会(出席=ケイちゃん)
30 日　会報編集会議 寿限無

2 月

10 日　ま～ゆ市
“まめちゃんの健康豆知識”
中央公民館

16 日～18 日　文化創造際に初参加 中央公民館
23 日　ま～ゆ寺子屋“上田の街づくりを考える”講師＝牧谷さん 中央公民館
26 日　世話人会 寿限無

カメラ慣れしたま～ゆの人たちは、林マヤさんに負けない堂々の演技を披露。
でも、たったの３分間。

3 月

10 日　ま～ゆ市 中央公民館
11 日　上田市合併１周年記念番組に出演(テレビ信州)
14 日　ま～ゆ寺子屋“
布ブローチを作る教室”
講師＝竹内文子さん
寿限無

17 日　味噌プロジェクト
大豆選別 寿限無
23 日　世話人会 寿限無
24 日　会報編集会議 寿限無

29 日～4 月 2 日　味噌プロジェクト 仕込み 寿限無

初体験の小学生も一生懸命 こねました

4 月

7 日　秋和菜園スタート(土起し＆肥料播き)
8 日　お花見ま～ゆ市 市立図書館横の公園
12 日　記念誌プロジェクト会議 寿限無
21 日　ジャガイモ植え付け 須川
25 日　ま～ゆ寺子屋
“エンデの遺言”ビデオ鑑賞
中央公民館
27 日　世話人会 寿限無
29 日　太郎山登山
案内役＝タマちゃん

「あれ？もうおわりなの」
植える人のほうが多かったかねえ。

あっちはどっち？

5 月

10 日　ま～ゆ市＆ミニ寄席 寿限無
〃　大宮北高等学校体験学習に講師として参加
(ごんべえ・ケイちゃん・まめちゃん)豊殿自治センター
19 日　ミステリーツアー 南相木ダム・廻り目平
22 日　世話人会 寿限無
27 日　田植え 須川

6 月

1 日　生涯学習推進講座“協働のまちづくり”で
ま～ゆの活動発表(ケイちゃん) 県生涯学習推進センター
9 日　会報編集会議 寿限無
10 日　ま～ゆ市“豆ちゃんの健康豆知識Ⅱ” 中央公民館
16 日　味噌プロジェクト 大豆播き 平井寺
26 日　世話人会 寿限無

この汗が 美味しい味噌の元

7 月

16 日～18 日　味噌プロジェクト 大豆畑の草取り 平井寺
21 日　ま～ゆ市“夏まつり生ビール大会”吉崎酒店裏庭
24 日　世話人会 寿限無
31 日　会報編集会議 寿限無

ちょっとお毒見。食べることには、どなたもご機嫌です

8 月

4 日　ジャガイモ掘り 須川
5 日　ジャガパー＆ま～ゆ市 須川グラウンド
10 日　ま～ゆ市 中央公民館
28 日　世話人会 寿限無

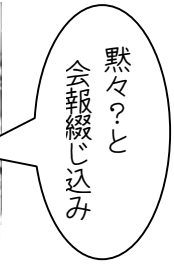
9 月

10 日　ま～ゆ市 中央公民館
26 日　世話人会 寿限無

10 月

1 日　田んぼプロジェクト 稲刈り
2 日　会報編集会議 寿限無
6 日　ストリートパフォーマンス＆市民活動団体交流会でま～ゆの活動紹介(ヒデさん) 上田駅前広場
10 日　ま～ゆ市 中央公民館
〃　ウエスポスト開設
13 日　地域通貨講演会＆自主映画発表会に参加
(ケイちゃん・かっとまん)南長野青年会議所(松代)
14 日　地域通貨座談会に参加(都々平)　松代商工会館

20 日　“うえだ環境フェア”フリーマーケット＆野菜市に初出店 創造館
23 日　世話人会 寿限無
30 日　玉ネギ・ニンニク植え付け 平井寺



11 月

1日　記念誌プロジェクト会議 寿限無
2 日　総会通知発送作業
7 日　ミステリーツアー 山梨県 西沢渓谷
11 日　“信州発 ボランティア活動フォーラム IN 上田”に話題提供者として参加(都々平) 丸子セレスホール
13 日　会計監査
〃　世話人会 寿限無

《ウエス・ポスト》 を設置しました

○○“ま～ゆ” の皆さんにお願い ○○

○ いらなくなった衣服や布地を、もう一度活かしたいのです。
○ 今後も使う予定がなくて、処分してもいいかな～と思っている衣類等が有りましたら提供してください。
○ ウエスにするには「まだ勿体ない“新古品”」は別に束ねてください。もう 1度袖(足)を通してあげたいから。
○ 支払いは “ ま～ゆ ” にてお願い致します。
※ 通年にて、ご協力をお願い致します。

《 話の内容 》

国では昨年4月から、障害者自立支援法を施行しました。
仕事が出来る障害者は仕事をしよう・・・ということです。
NPOの作業所にて、ウエス作りをしている人がいます。
その仕事をしたくても、ウエスを作るための布地が足りなくて困っているとのことです。

《 どんな布地を・・・? 》

● 基本的に、綿の混紡率が 30% 以上のもの。
○ 綿がどのくらい入っているか 分かりにくい物もあるため、どんな布地でもかまいません。
(仕分けは作業所でします)

《 たとえば 》

使わなくなった子供服・大人用シャツ・パンツ・シーツ・大判タオル・一般衣服・ジーンズ等もOKです。
※ 洗濯ができているものをお願いします。

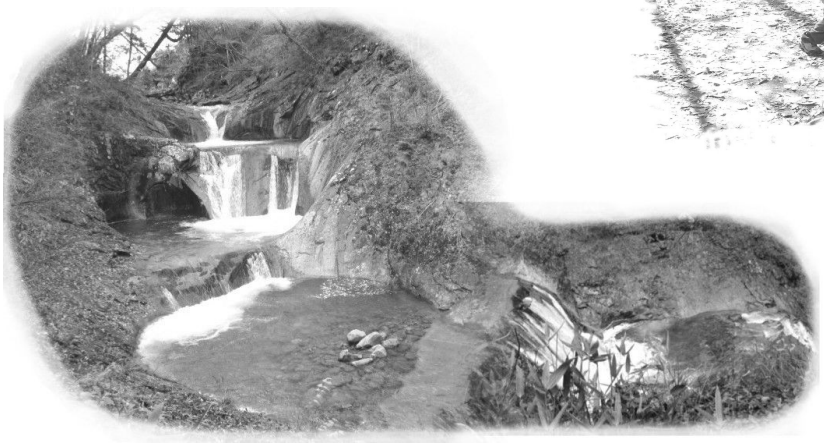
《 お届け先 》

● 寿限無の《 ウエスポスト・コーナー 》
● ご協力の際は、　必ず“ま～ゆ通帳”をご持参下さい。
通帳への記入は「ウエス・ポスト」“200 ま～ゆ”で、お願いいたします。

《 ウエス・ポスト 》担当 №194 まめちゃん(荒井信雄)

紅葉狩り
ミステリーツアー

入り口では元気でしたが……



圧巻はここ“七つ釜”

11 月 7 日参加者 14 名は午前 7 時、寿限無を出発。バスは佐久方面に向かい走る。さて行く先は？昇仙峡等が挙げられたが、皆の矢の催促で早々と目的地「西沢渓谷」が発表された。約 4 時間ほどで渓谷駐車場に到着、もみじの名所とあって平日でも満杯であった。

いざ出発。左右に渓流が眺められ、見上げれば赤黄緑の紅葉が絶景である。しかし歩道は狭く険しい。岩盤に打ってある鎖につかまりながら、あえぎながら登る。ハイカーの中には赤子を背負っている人、犬もいるし、老若男女バラエティに富んでいる。

頂上に先進隊が到着していて皆で昼食となる。ハコさん得意の卵焼き等ご馳走になる。口々に「これは登山だね」とぼやいたりしていたが、山を征服したという満足感が顔に出ていた。私は登山スタイルではなかったので、孫の手さんに上衣やバックを持ってもらい助かった。

帰途はどこかで温泉に入り、皆で疲れを取ろうとしたが、なかなか見つからず「つるべ落としの秋の陽」で家路に急いだ。午後 7 時に出発地に無事帰ってきた。孫の手さん長距離ドライバーご苦労様でした。

疲労困憊なのに 我慢して笑ってます

この見事な滝を見た人いる？

特　集

私とま～ゆ
ま～ゆと私

前からま～ゆに関わって、すっかりハマってしまった人。

入会したばかりで　よくは分からないけど、
「ま～ゆって素敵！」と、胸をふくらませている人。

じわじわっと　ま～ゆが生活の中に入りこんで、
楽しんでいる人。

「まだこれから」「そのうちに…」と、
じっくり構えている人。

人さまざまに感じているま～ゆ。
その思いの丈をつづっていただきました。

ま～ゆの使い方教えてください

No.18 峰村 富士雄

編集委員から「何か書いてよ」と言われても、ただ頭をかくばかりです。

「ま～ゆ」が出来た頃は、顔を出していたものの、今は全然ごぶさたしています。６月か７月頃、ごんべえさんと ○○さん（すみません、お名前忘れてしまって…）キビの草とってもらい、とても助かりました。でも通帳忘れて記入しなかった、ごめんなさい。

考えるに「ま～ゆ」地域通貨について、よく理解できていないのかも。いや理解するとか、しないとかではなく、使ってみることによって分かって来るのかも知れない。

今の世は、“ゼニコ”の世界になってるのかな？安ければ世界中から かき集め、食卓をかざっているように見えます。まあ、そんなことはどうでもいいんだけど…。

ある時、どうも「自分の食うものは、自分で作ったほうがいいのでは」と感じ、少しずつ種を蒔いてきました。初めの頃、こんなに蒔いてどうなるのか？と思ってたら、人参は芽も出しませんでした。何回か経って、小指ぐらいの人参が育ったときは、嬉しくなって、友人にもあげました。今思うと、もらった方は嬉しくなかったと思うけど……。

あれから、何十年余り経ったのか、今では土日、畑においまくられて、玉ネギ移植しなくては…小豆とらなくては…等々まにあわなくて、困っています。台所にはナスの山、畑にもナス、採った順から食べていくと、“シナビタナス”をいただき、採りたてのナスが食べれないという、まあ“オタンコナス”みたいなことやっています。

畑に追われたり、採れすぎた時、採れなかった時、なんとか「ま～ゆ」で解決できたらいいと　思ってるのですが、誰かお知恵を貸してください。

今、映画「六ケ所村ラプソディー」（釜仲ひとみ監督 DVD120 分）を 12 月 16 日（日）長野大学 101 号教室でやろうと、とりくんでいます。

是非助っ人をお願いします。そうそう、どなたか遠く離しても良く映るプロジェクター貸してくれないかな？どなたかチケット、売ってくれないかな？当日手伝ってくれないかな？と思うのですが、あまり顔だしていないから……。

あっ、自然に生えたゴボウいりませんか？ゴボウの常識をやぶって、細くて短いゴボウの味がする。「ゴボウ抜きなんて簡単に採れる」とおもったら大違い、スコとバールを持って掘ってください。あげます。場所は、東塩田小学校近く、キビ畑だったところ、ごんべえさんが知っていますから。

それと水俣で採れた、温州みかん（12 月）・オレンジセット（2 月）・甘夏（3 月）も取り寄せています。今年は不作で 7kg 2,700 円余で温州ミカンを、お分けしています。水俣の味を味わってください。

頭をかきながら書きましたが、○○さんから「野菜食ってないで、人を喰ってる」と言われそうですが、「ま～ゆ」の使い方教えてください。

都市・建築工房 No.130ヒデさん(竹内秀夫)

●一級建築士事務所
●トラブルが多いリフォームだからこそお任せください
●朝日新聞のリフォーム記事を無料で差し上げます
●地元産木材を使ったローコスト環境住宅の設計料の5%まで「ま～ゆ」が使えます。

上田市御所 274
TEL0268-28-7532
http://www6.ueda.ne.jp/~toshiken/

街の気軽なマルチメディアショップ
㈲ 伸和印刷 No.57 中澤

●ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使いください
●今、流行りの自分史を作ってみませんか?
●会議資料作りに便利な、製本機能付き
高速デジタルコピー機導入しました

上田市国分1-7-12
TEL22-7710 Fax22-7718

改めて”ま～ゆ通貨”を使うということ

No.81 ハコ こと 木下ハル子

残暑の厳しい過日”冷蔵庫”が突然その 機能をやめてしまい大慌て。

翌日が ”ま～ゆ市”であり、あわててSOSを発信、大勢の方がそれぞれに氷、保冷剤を用意してくださった。

思いもかけない一連の騒ぎで、その席上と翌日のメール上でのお礼の言葉のみで済ませてしまってました。

ま～ゆ通貨のことは全く”失念”です。

後日そのことを改めて問われ”???”の状態になりました。

改めて考えてみると”ま～ゆ”のイベント、市、もろもろの行事に参加しているうちに”仲間意識”とお互い様”の感覚が優先してそのことが普通になってしまっていた私でした。

極端に言えば”ま～ゆ市”での通帳記帳とプロジェクトでの記帳ぐらいで、今に至ってきたということです。

くらぶま～ゆがあまりにも充実して楽しいところだからかも知れませんね。

ヒデさんが教えてくれました。”使い慣れることだよ”と、

そのとおりなんですね。何年も在籍してわかっていたつもりがまだまだ理解できない、使いまわし出来ないということのようでした。

それと今まで長く生きてきて身についてしまっている、感覚との多少の”差”も介在しているようです。

少し上手に使えるようにやってみようと思っています。

ということで、”氷”でお世話になった皆様にはご勘弁の程よろしくお願いします。

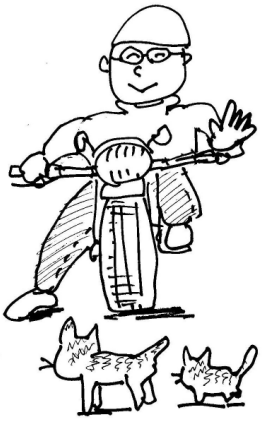
親愛なる「蚕都くらぶま～ゆ」の皆様No.05の さーべっちです。

拝啓

晩秋の候、皆様にはますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。ご無沙汰していて申し訳ありません。

ここ数年だいたい４月～10月までの間は、平日は仕事・週末の休日は、専ら趣味であるところの オートバイツーリングに出かけていまして、なかなか皆様ともお会いできずにいるというのが現状です。



前置きが、長くなってしまいました。

本題ですが、ま～ゆ会員として私が活動したことといえば、数年前の夏に都々平さん宅が新築された際（現在の寿限無ですね）の引っ越しをお手伝いさせていただいたことぐらいです。

少しは、お役に立てたのでしょうか？

また今回の原稿依頼とは直接関係有りませんが、昨年３月26日付けの“にゃんこ先生”の移動動物園についてのメールには、愛猫家の一人としてたいへん感動いたしました。

私自身バイク乗りであるくらいなので、自由をこよなく愛し束縛が大嫌いなタイプです。植物に関しては、知識があまり無いのでわかりかねますが、動物（人間を含め）は、束縛することなく（緊急避難時を 除いて）、ありのままに自由でいさせてあげたいものだと私も考えています。特に人間側の利益のみを狙った身勝手な見物用は、やめていきたいものだと同感です。

せっかくのご依頼なのに大したことも書けず、申し訳ない気持ちで一杯ですが、上のような次第ですのでご勘弁下さい。

皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

敬具

ま～ゆと私が出会った事

№112 **めばえ**（長谷川）

初めての出会いは、縁舎での**草餅**作りの時でした。参加者の発する生き生きした巨大なエネルギーにビックリ仰天。圧倒されました。初参加の者にはさりげなく気を配ってくれました。

２回目は**ジャガイモ**の植え付け。近くでもなかなか行く機会のなかった須川にわくわく。道案内はま～ゆ人らしい人について……（後でその方はヒデさんとわかりました。）収穫したジャガイモが、後日届こころ配りにうれしくなりました。

３回目は**イガチク**を分けてもらいに寿限無へ。お茶をいただきおしゃべりを。前田さんご夫婦のかもし出す不思議な居心地の良さが心にしみました。

４回目は**味噌**作りでした。周りで交わされるおしゃべりを楽しみながらの、豆の選別は好きな作業。味噌作りは段取りを良くしてくれてあり、有り難くかめに味噌を仕込みました。今年こそ味噌プロジェクトにと思いながら、豆まきも草取りも参加できず、おんぶにだっこの参加に少々胸をいためながら、１０月１５日にま～ゆ味噌を初出ししました。５月に９６才の天寿を全うした義母が教えてくれたように、蕗の葉で被い小石を並べた味噌がめをドキドキしながら開けました。平井寺で取れた大豆に大勢のま～ゆの人たちの、手の味のしみ込んだ味噌。おいしーい。我が家は（夫と２人ですが）味噌汁大好き。ま～ゆの皆さんとま～ゆ味噌に感謝！感謝！です。

会報は、ヒデさん経由で、みさおさんが届けてくれます。私は「いつもすみません」と受け取り、「おー、今こんな事やっているんだ。ま～ゆの活動は豊かだな」とか思いながらゆっくり目を通す。殺伐とした事件の多い世の中、会報読んでは「人間ってやっぱり素晴らしい」などとつぶやくのです。

現在、会報読むだけ会員。それではま～ゆの趣旨に合わないのかな？会報読むだけ会員というのも良いのではないか、などと思いつつ過ごしています。そして、通貨ま～ゆはマイナスで、いつプラスになるのか見通しはありませんが‥‥。

わたしのペースで、これからもま～ゆの活動に参加してゆきたいのでよろしくお願いします。

付け足しですが、私の名前は芽生（メバエ）で珍しいらしいが、上田にも同じ字で「めいさん」というかわいい娘さんが２人いることがわかり、何とはなしに嬉しくなっています。私の出身は野麦峠の長野県境 奈川村。野山ではなく、山を駆けめぐって成長しました。

甲田はきもの店 №39 甲田

● ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使い下さい

●靴、草履、下駄などの修理は20%まで使えます

上田市中央4-6-24

TEL22-1272

七田チャイルドアカデミー上田教室 №11竹田

● 体験レッスンの20%まで「ま～ゆ」をお使い下さい

上田市中之条101-1利幸第2ビル201号

TEL23-2952

書評、あるいは、本の紹介

『エンデの島』

高任和夫　著　　光文社

（二〇〇七年四月発行）

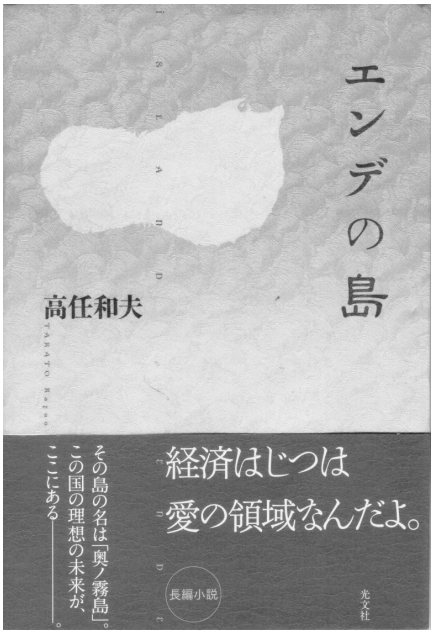
にゃんこ先生こと竹内紀子

著者は一九四六年生れ。三井物産に勤務した後に小説家になる。主に経済小説が多い。

奥の霧島は、伊豆諸島の先、人口約七千の架空の島だ。そこにUターン、Iターンしている人達を雑誌で特集するというので、作家が執筆を依頼され、編集者と共に島に取材に行く。それがこの物語の発端だ。

書名が示すとおり、〝オッキイ〟というNPOが運営管理している地域通貨が島では流通している。通貨の名前はオッキ（一オッキは百円、一コッキは十円相当）だ。住民各人それぞれがしてあげられることが電話帳に載っている。ここはま〜ゆの仕組みを思わせる。しかし違うのは、オッキはなんとほとんど全商店で使えるという点だ。老人達は年金の半分をオッキに換え、オッキを流通させることで地域循環型経済を作りあげている。「利息は罪悪だ。資本主義によって人間は利息の奴隷になった。」という考え方を基本に、〝オッキイ〟が管理する島民ファンドは、お金が必要な島民に無利子で融資している。

そのほか、移住者へは農地貸し出しが行われ、永住型別荘地がある。温泉もあって、地熱を利用した発電もしている。観光の目玉はダイビング。羽田から飛行機で一時間という場所柄、都会から観光客を呼ぶ努力をしている。しかし、内地スーパーマーケットやホテルの資本進出を島の条例でシャットアウトしているので、島が植民地化されることはない。したがって、商店街のシャッターは閉まっていないし、仕事はいくらでもあるという。



さらに、議員は名誉職であるからして、無報酬である。また医療も充実している。老人から人間の尊厳を奪わない介護を実現させた医療施設には、本土から患者が押し寄せるほどだ。

まさに桃源郷であり、竜宮城である。竜宮城に連れて行ってくれるのは海亀である。ミヒャエル・エンデの『モモ』ではカシオペイアという亀が案内役を務めていたことを思うと、ちょっと不思議な気がする。

年間平均気温は二〇℃弱という常春の島だと聞けば、私だって移住したくなる。あまりいいことづくめなので読んでいるうちに、しらけてくる向きもあるだろう。

一つ気になったのは、子供たちの姿が全然見えなかったことだ。少子化はここでも問題であろうが、移住者を招致することで解消されているのだろうか。学校や教育はきちんと機能しているのだろうか。

さて、地域通貨の代表者が最後に登場し、〝オッキイ〟の財源についても明らかにされる。ネタばれになるので、これ以上は書かないが、読者の反応は様々だろう。

平成 19 年度　須川プロジェクトだより

今夜もま～ゆに乾杯！

疲労坊＆ごんべえ

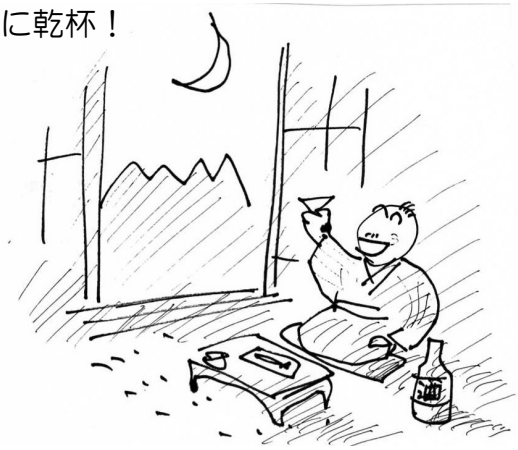
須川の6年目の秋が終わりました。今年は梅雨明けが遅く、7月末まで冷夏で このままでは「何年か前の凶作になるのでは」と心配しましたが、何と8月は記録的な猛暑。岐阜や埼玉では40.9度と70何年ぶりに最高気温を更新しました。そのせいか、須川の谷では一番遅く植えたま～ゆ田んぼの稲は元気に育ち、結果が良かったように思います。田の草を一生懸命取ったせいもあったでしょうが、昨年より50kg 以上増収となりました。先日新米を食べてみましたが、なかなかの味で殊に冷えてからの粘りは八重原米並だと、にんまりしています。お手伝い頂いた皆様にはお配りしましたが、味は如何だったでしょうか。会員の皆様には、販売しますので協力を含めて、是非食べてみてください。

今年ほど食の問題が取り沙汰された年はなかったと思います。輸入食品の安全性の問題、賞味・消費期限の改ざん偽装、食料自給率のカロリーベースで39%までの更なる低下等々、この先どうなるのでしょうか。

この様な中で“戦後農政の転換”大規模農家を育成する「品目横断的経営安定対策」が導入されました。結果は米価の下落により大規模農家ほど苦境に陥っています。消費者も生産者も苦しんでいるのです。先日ある主婦の言葉が心に残りました。「グルメと称して世界中の食文化を楽しむのもいいが、本来の食文化はくらしと密着したところから生まれたものだ。身近にある食材を創意工夫しておいしく食べてきた中に、今日の豊かな食文化が花開いたことを忘れてはならない。何を食べるかに生き方も反映される。今のままでは私たちの生き方もゲージの中で一生を過ごすブロイラーや養殖魚と変わりない」

ま～ゆ菜園やま～ゆ田んぼで自分で作った野菜や米や麦を食べるま～ゆ的生き方。何と贅沢で自由で素晴らしいことか。小規模農家で結構。

今夜も日本酒でま～ゆに乾杯！



ま～ゆ米の販売

10Kg　3000円+500ま～ゆ

ご注文は ML または電話等で

直接ごんべえまで

第 6 年度 蚕都くらぶ・ま～ゆ 会計報告書

会計期間: 平成 18 年 11 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日

（収入の部）

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　　要
会費	168,000	175,100	7,100	1200 円×137人　途中入会16名
出版事業配当	0	110,000	110,000	
雑収入	0	37,817	37,817	総会参会費・フリーマーケット等
前年度より繰越	232,394	232,394	0	
合　　計	400,394	555,311	154,917	

（支出の部）

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　　要
通信費	42,000	50,790	8,790	はがき通信・メール管理
会場費	30,000	22,000	−8,000	寿限無 ほか
消耗品費	20,000	61,488	41,488	事務用品
総会費	10,000	8,800	−1,200	総会通知
会議費	30,000	30,000	0	世話人会・編集会議
記念誌出版補助金	200,000	200,000	0	
雑費	5,000	28,793	23,793	
予備費	28,394		−28,394	
次年度へ繰越		105,191	105,191	
合　計	400,394	555,311	154,917	

会 計　丸山 久美子

平成 19 年 11 月 13 日

会計監査の結果、適正に処理されていたことを認めます。

会 計 監 査　河野 孝夫

第 7 年度ま～ゆ会計予算書 (案)

平成19 年11月1日～20 年10月31日

収入の部

費 目	予算額	内 訳
前年度繰越	105,191	
会費	168,000	1,200 円×140 人
雑収入	30,000	600 円 × 50 人
合計	303,191	

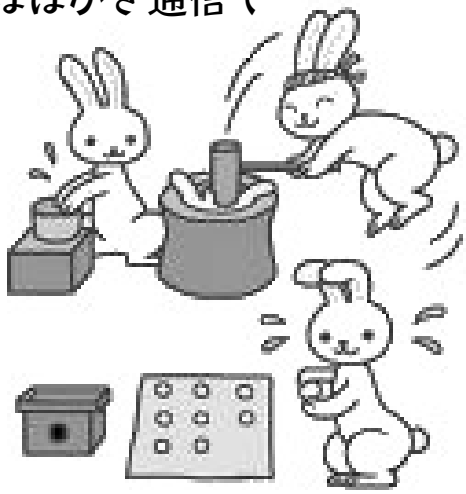
支出の部

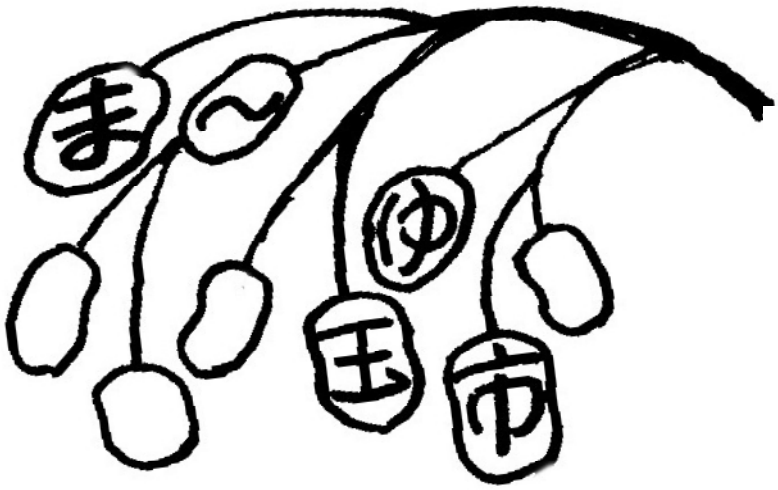
費 目	予算額	内　訳
会報作成費	50,000	用紙・インク ほか
通信費	80,000	はがき通信・メール管理 会報送料
会場費	30,000	会場借り上げ代　12,000 円 世話人会(寿限無)　12,000 円 編集委員会(寿限無)　6,000 円
消耗費	30,000	事務用品
総会費	10,000	総会通知 ほか
会議費	30,000	世話人会・編集委員会
雑費	5,000	
予備費	68,191	
合計	303,191	

餅つき大会 参加者募集

12月23日(祝)

詳細ははがき通信で





12月のま～ゆ市
10日(月) よる7時
中央公民館

1月12日(土) 1時30分から　中央公民館で

会費未納の会員さんへ

１月のま～ゆ市までに年会費 1200 円を納めてください。
会報を郵送希望の方は、＋600 円です。
ご都合でその日までに納められない場合は会員として継続する意思を事務局にお伝えください。

編集を終って

６周年の表紙は数年ぶりに黒田果菜さんの楽しいイラストが登場しました。
これまで３８冊の会報に寄稿された会員は実に９０人を超しています。
会の活動でもこのように「みんなで築くま～ゆ」にして行こうではありませんか。７年目に入って役割分担が提起され、その方向に滑り出します。ま～ゆ寺子屋では、幾人かが講師に名乗りを上げる動きがあります。楽しみながら自らも生甲斐を求めて、躍動感溢れるま～ゆに進化することに胸を躍らせている都々平です。

荒井ハリ治療室 No.194 まめちゃん(荒井)

●まめちゃんの健康相談室
体の構造とルールに照らし合わせて、あなたの体のことを考えてみましょう。
●相談には500ま～ゆをお使いください。
●治療にはま～ゆを25%使えます。
●予約は電話で。

上田市踏入 2－15－10
TEL0268-24-5627

代表　安井啓子
ま～ゆ連絡先　前田光俊
〒386-0041 上田市秋和 503-6
TEL 27-1230
ホームページ　(検索エンジンで地域通貨 ま～ゆ を開いてください)